



平成 22 年 3 月 30 日

各 位

会社名 株式会社 デイ・シイ
代表者名 代表取締役社長 森 紀雄
(東証一部・コード番号：5234)
問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長 仁田峠 宏司
電話番号 TEL (044) 223-4751

セメントキルンの一部運転休止並びに特別損失の発生のお知らせ

当社は、平成 22 年 3 月 30 日開催の取締役会において、セメント生産能力削減を目的とするセメントキルンの一部運転休止及びキルン運転休止に伴う特別損失の計上並びに生コンクリート事業及び管路事業における収益性の悪化に伴う特別損失の計上を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. セメントキルン（セメント製造のための焼成設備）の一部運転休止の理由

当社は、太平洋セメント株式会社の持分法適用会社であり、同社は当社の発行済株式数の 27.8%を所有する筆頭株主であります。

また、当社は同社とセメントの販売に関して委託販売契約を締結しており、セメントの全量を同社に販売委託しているため、当社の生産販売計画は、同社の販売動向等により影響を受けるものであります。

同社は、国内のセメント需要の激減をはじめとする厳しい経営環境を踏まえ、国内生産体制の見直しを行うことを決定しており、当社におきましてもセメント需要減に機動的に対応するため、セメント生産能力の見直しが必要であると判断し、セメントキルンの一部運転休止をするとともに、セメント需要減に応じた生産体制とすべく事業構造の改善に取り組むことといたします。

2. 休止する設備

当社は、セメントキルンを 3 基保有していることから、これを 2 基体制にすべくセメントキルン 1 基を平成 22 年度より休止いたします。これによる生産能力の削減量は 318 千 t / 年であります。

休止後の生産能力は 827 千 t / 年ですが、セメント需要減に応じて、更に機動的な生産体制を構築していくことといたします。

なお、休止キルンにつきましては、新たな事業転用を検討することといたします。

3. 特別損失の内訳

(1) セメントキルン一部運転休止に伴う特別損失

上記、セメントキルンの一部運転休止に伴い固定資産の一部を減損処理いたします。

減損損失 98 百万円

(2) 生コンクリート事業及び管路事業における収益性の悪化に伴う特別損失

(連結)

生コンクリート事業及び管路事業における収益性の悪化から、のれんの未償却残高及び連結子会社の固定資産の一部を減損処理いたします。

のれんの未償却残高の減損損失	206 百万円
固定資産の減損損失	351 百万円

(個別)

生コンクリート事業及び管路事業における収益性の悪化から、子会社に対する貸付金に対し貸倒引当金を計上いたします。なお、連結上消去されるものであります。

貸倒引当金	126 百万円
-------	---------

4. 今後の見通し

(連結) 上記により、特別損失 655 百万円が発生する見込みであります。

(個別) 上記により、特別損失 224 百万円が発生する見込みであります。

なお、この特別損失を含む平成 22 年 3 月期通期連結業績予想及び通期個別業績予想につきましては現在精査中であり、明らかになり次第速やかに公表いたします。

また、平成 22 年度以降の事業構造の改善策等につきましては、平成 22 年度を基点とする新中期 3 ヶ年計画 (12 デイ・シイグループ中計) の策定に取り組んでいる最中であり、計画が策定され次第速やかに公表いたします。

(注) 上記の生産能力は、セメント協会による公表値 (2009 年 4 月 1 日現在) です。

以上